

# 6. 動物愛護出前教室

夏休み期間中、学童保育や児童館を訪問して動物愛護出前教室を行いました!!

今年は、県内8か所を訪問、計315名の指導員さんと子どもたちに参加してもらいました。ご協力いただいた動物愛護推進員の皆さん、ありがとうございました。

## ① しっぽの森の紹介



小学校低学年向けに改良したスライドパネルを掲げながら、しっぽの森について紹介。しっぽの森の場所を知ってもらい、しっぽの森の役割をわかりやすく説明。みんな、真剣に聞いてくれました。

## ② 動物の特徴に興味津々



実物大の動物の写真が載っている図鑑を用いた大ききらくらべ、ゾウやシロクマの大きさにビックリ!!  
チーターの足の速さやタヌキとアライグマの違いを学びました。

## ③ 犬との接し方



小型犬サイズのぬいぐるみを用いて、正しい犬の触り方・散歩の方法等を学習。  
飼い主さんへのあいさつの仕方やお散歩に行くときのルールとマナーをみんなにも練習してもらいました。

## ④ 動物愛護〇×クイズ



身近な動物である犬や猫のことをもっと知ってもらうための〇×クイズ、正解して大喜びの子どもたちに、解説も聞いてもらって犬猫博士になってもらいました。

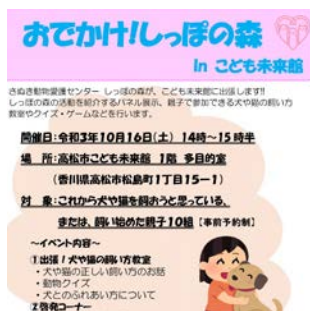
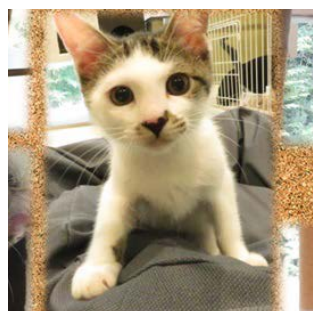
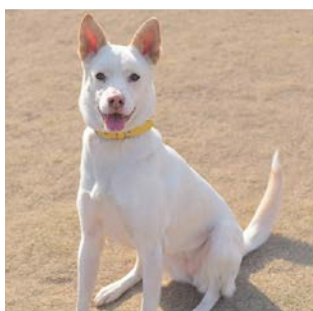


## しっぽの森Instagramのご紹介



しっぽの森では、Instagramで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。  
しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

[@sanuki\\_shipponomori](https://www.instagram.com/sanuki_shipponomori)



是非一度、Instagram「しっぽの森\_さぬき動物愛護センター」をご覧ください。



さぬき動物愛護センター  
キャラクター:アイゴン



1. 動物愛護パネル展を開催!
2. 成犬を迎える準備
3. 新しい家族を待つ成犬たち
4. 譲渡ボランティア活動報告
5. 新しい家族を迎えて  
～しっぽの森から譲渡した犬や猫たち～
6. 動物愛護出前教室

## 1. しっぽの森 動物愛護パネル展を開催!

県庁ギャラリー(香川県庁本館1階)と高松市中央図書館サテライト(瓦町フラッグ8階)、丸亀市役所ロビーで動物愛護パネル展を開催しました。



しっぽの森の紹介やペットの災害対策、香川県の現状、適正な飼養のために日頃から備えておくことなど県民の皆さんに広く知ってほしいことをパネルにして展示しました。

### 香川県はなぜ収容数・殺処分数が多い?

**野良犬猫が誕生**  
不妊去勢手術をしていない犬猫の遺棄・遺棄により繁殖し、野良犬猫となる

**野良犬猫が繁殖**  
無責任なエサやり行為の増加により繁殖し、野良犬猫となる

**行政(保健所)**  
収容頭数の増加  
家庭動物としての適性が低く、譲渡の難しい場合が多い

### 香川県の収容数・殺処分数を減らすためには?

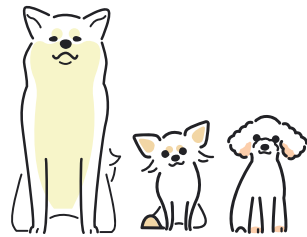
○犬猫の飼い主は、誰もが地域で規範的な飼い主となるよう、**適正飼養・終生飼養**を行う

○不適正な飼い方により、新たな野良犬・猫を生み出したり、無責任な餌やり行為などにより、**不幸な命をこれ以上増やさないようにする**

今後も県内各地でしっぽの森パネル展を行う予定としているので、近くにお越しの際は、ご覧いただき、動物愛護や適正な飼養等について考えてもらう機会になれば幸いです。

## 2. 成犬を迎える準備

成犬を迎えるには...



### 飼い主さんも辛抱!

しっぽの森にいる成犬は、人馴れトレーニング中の犬が多く、子犬に比べると、馴れるまで時間がかかる犬もいます。また、持病を持っている犬もいるので、迎える前にしっかりと病歴を聞き取っておきましょう。

### 逃げないように注意!

- 首輪・ハーネス(胴輪)・リード・チェーンリードは複数準備
- 係留場所はしっかり固定、丈夫なケージも
- 首輪は、指が2本入るくらいで装着
- 鑑札・注射済票・迷子札は、必ず犬に身に付けましょう
- お散歩は、首輪もリードも2本ずつ
- 臆病な犬に『ハーネスだけ』はやめてください

### 社会化期に人とかわかることを逸した犬は...

- 怖いできごと(人ごみ、騒ぐ子供、車、大きな物音など)が苦手です。特に野犬の場合は人の助けを必要とせず生きてきました。過度の期待は禁物!暖かい心で包んであげてください。
- 長い目で、決して焦らず愛情をもってお世話しましょう。



車のエンジン音が苦手!散歩ができるように少しずつトレーニング!



指が4本入るようでは、少し緩いかなあ〜



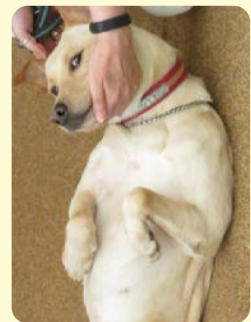
指2本を入れることができるキツさで!

## 3. 新しい家族を待つ成犬たち

①センターでの呼び名 ②アピールポイント ③ここがすごい! ④今、頑張っていること



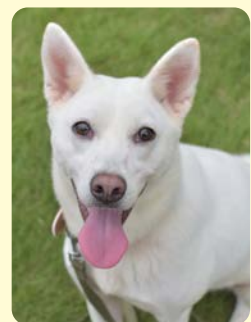
- 1 こしょう
- 2 クリクリした大きな目や横広りの大きな耳!ピツリと横に寄り添ってくれます。
- 3 名前を呼ぶと、(ゆっくりだけど...)ちゃ〜んと来てくれます!
- 4 初めて会う人からも、大好きな『おやつ』をもらえるように、人馴れの練習を頑張ってます!



- 1 パニエル
- 2 笑った顔がしわくちやで、とてもキュート!とても甘えん坊で、すぐにお腹を見せちゃいます(笑)
- 3 ゲージやクレートに上手に入って、ちゃんと待てます。『おすわり』『おて』『まて』ができるようになりました。
- 4 人混みが苦手だけど、多くの人と出会うことができるように、人の輪に入っていく練習を頑張ってます!



- 1 りょうま
- 2 しっぽの森で一番立派な体格&凛々しい男前! だけど、スリスリ甘えてきます(笑)
- 3 ドッグランで遊んでも、『リョウマ〜』って呼んだら戻ってきます。
- 4 初めて会う人にも緊張しないでカッコイイところをアピールできるように、頑張ってます!



- 1 アン
- 2 しっぽの森で一番の色白&真っ黒な目。
- 3 甘え上手&アピール上手! 『おすわり』『おて』『まて』『ふせ』ができる芸達者。
- 4 実は極度の人見知りなので、スタッフの後ろに隠れなくてお客様に挨拶できるように、頑張ってます。

## 4. 譲渡ボランティア活動報告

このコーナーでは、譲渡ボランティアの活動を紹介します。今回は「保護猫たちのおうち探し」にお話を聞きました。

### 地道な個人活動

こんばんにや(ゆゆ)私は、個人的にしていた捨て猫を拾って里親さんを探す活動の経験などから、2013年9月、正式に譲渡ボランティア名「保護猫たちのおうち探し」として、保健所の猫を預かって里親さんを探すことを始めました。NPOや保護団体とは異なり、独りでの活動のため、保護できる猫の数は少ないのですが、1にやんでも多く素敵なご縁を繋いでいけるように細く長く地道な活動を継続して行っています。

### 譲渡活動の湧き出る活力は、やっぱり猫好きだにや

「しっぽの森」からお預かりした猫、自宅近隣で保護した猫などをサイト「ペットのおうち」へ掲載したり、独自の譲渡会を開催し、そこでご縁を繋いでいます。

### みなさんに知っておいてほしいこともあるんだにや

みなさんに知ってほしい「香川県や高松市の犬や猫の現状」をブログや譲渡会にてお伝えしたり、みなさんが「しっぽの森」からの譲渡を考えていただけるように、また保健所への理解を深めてもらえるように説明を行っています。ブログでは猫を飼う上で知っておいてほしいことなど猫好きにはたまらない内容となっていますので、みなさんご一読くださいにやん。



啓発も頑張っているにやん!

ブログ「保護猫たちのおうち探し」

### 譲渡ボランティアって?

しっぽの森から犬・猫を譲り受け、人なれや、健康管理を行って新しい家族探しを手伝ってくださっている人たちです。「譲渡ボランティアをやりたい」、「自分の家庭環境や住宅で、譲渡ボランティア活動ができるだろうか?」など、気になることがある方は、是非一度しっぽの森までお問い合わせください。

## 5. 新しい家族を迎えて ~しっぽの森から譲渡した犬や猫たち~

しっぽの森卒業生の新しい暮らしを紹介します。今回は、「こくり」との新たな生活をはじめられたTさんからおたよりをいただきました。

### ●娘さまより

お久しぶりです。こくりは元気でドッグフードもたくさん食べています。初めは、きんちょうしていたのか、はいせつもしなかったけれど、今は、お散歩のたびにしています。わが家にきてから初めて、川遊びに行くことまでできて、家に帰ると、ごろごろとくつろいでいます。コロナが落ち着いたら、またこくりを連れて遊びに行かせてもらいます。楽しみにしています。



### ●お母さまより(一部抜粋)

この度は「こくり」にひきあわせていただいたお礼を申し上げたく筆をとりました。そちらで保護されていた数カ月間、スタッフの皆様方に大事に育てられていたお陰で、新しい家族として穏やかに迎え入れることができました。本当にありがとうございました。はじめこそ緊張して食事とらず排泄もしないため心配しましたが、今では娘の後ろをしっぽを振って追い、リビングでくつろいで寝ています。コードや家具をかじられたり鳴かれることも覚悟していましたが、今のところ一切なく、驚いています。こんないい子に出会ってしまったら次の子が飼えなくなるねと話しているほどです。唯一の誤算はトイレトレーニングの半ばで散歩中に排泄してしまふようになったことですが、後ろ足で土を蹴り上げたり、草を食べたりする姿は、本来の犬らしさを取り戻してくれているのかなと思うようにしています。講習会でご指導いただいたように模範的な飼い主になれるよう、水とシートは持ち歩き、流して拭き取るようにしています! 早朝の散歩中に出会う方々の犬を介した交流も新鮮で、すっかり我が家はこくり中心の生活になっています。香川県の現状を改善していくには私達はあまりに無力ですが、しっぽの森で出会った保護犬をひきとって幸せだよ!という声は上げていきたいと思っています。

